



皆様、明けましておめでとうございます。いつもお世話になり、本当にありがとうございます。年始の挨拶が遅くなりまして申し訳ありませんでしたが、今年の旧正月は2月19日ということでおゆるしてください。

市議会議員としての活動も、最後の一年となりました。この3年間、「人口減少に歯止めをかける」ことと「経済・産業を活性化して安定的な雇用を増やす」ことを奄美市最大の課題ととらえ、調査・研究を踏まえて提

言・提案を行って参りました。実現できた部分も多少はありますが、成果としてはまだ不十分だと感じております。

奄美の将来を考える上で、「世界自然遺産登録」とそれに相応しい地域をつくる、ということが不可欠な要素だと思っております。

「地方創生」元年を、より良くスタートするためにも、皆様の一層のご指導をお願い申し上げます。

安田そうへい

そうへいの議会トピックス
直近の議会での決定事項や進捗状況についてお知らせします。

1 平成 26 年第 4 回定例会 (12 月定例会) における主な議案等です

- 26 年度一般会計補正予算第 4 号 (衆院総選挙費 2100 万円)、同第 5 号 (6 億円) ⇒ 結果、26 年度一般会計総額は 319 億円。
- その主な内容は、
- ①障がい者福祉費介護給付等事業費 1 億 604 万円
- ②過疎地域自立促進特別事業基金積立金 5700 万円
- ③人事院勧告に伴う人件費の改定 4800 万円
- ④好循環実現経済対策事業 1928 万円：三儀山運動公園ブルペン改修、知名瀬地区農道整備、住用地区防犯灯整備等
- ⑤急傾斜地崩壊対策事業 1000 万円
- ⑥地域人づくり事業 636 万円：ネットワーク管理者育成・観光ガイド育成等で合計 11 名 の新規雇用を見込む
- 国民健康保険事業・水道事業等 6 特別会計・企業会計の補正予算
- 指定管理者の指定 (名瀬公民館・奄美体験交流館・奄美振興会館・大浜海浜公園と奄美海洋展示館等 17 施設)

- 人口内耳機器の助成に関する請願 ⇒ 採択
- 陸上自衛隊基地「受け入れ」表明の撤回を求める請願 ⇒ 不採択
- 手話言語法制定を求める意見書の提出を求める陳情 ⇒ 採択
- 「県民の安全が担保されない拙速な川内原発 1・2 号機の再稼動を認めない意見書」の採択を求める陳情 ⇒ 不採択

2 本庁舎建設提言特別委員会について

昨年 11 月 15 日に民間委員も交えた「本庁舎建設基本構想策定委員会」が市長に答申書を提出したことにより、本特別委員会も解散となりました。平成 30 年度に着工、32 年度使用開始を目指して進められていきますので、逐次進捗を報告します。

3 「奄美・琉球」世界自然遺産登録推進特別委員会について

研修会を開催して①自然史博物館の建設、②学校における環境教育の充実、③ノイヌ・ノネコ・ノヤギ問題について学びました。今後は土地利用のあり方について認識を深め、自然環境の保全と活用とが両立できる地域づくりを目指してまいります。

そうへいの
一般質問レポート



地
創

方
生

今回の一般質問では「地方創生」というテーマのもと、将来の奄美市を考える上でいま喫緊に取り組むべき課題について、行政当局と議論をしました。国を挙げての地方創生という大きな枠組みをしっかりと生かし、目先のことや短期的なことだけに終始せず、効果が長く持続するような政策を打ち出して頂きたいと念願しております。



1
**人口減
対策**
まずこの問題に対する危機感やこれからの取り組みに対する気概・意気込みを尋ねたとこ

ろ、人口減少に歯止めをかけるために少子化対策や雇用創出、定住促進に継続して取り組みたいという答弁でしたので、「定住促進住宅整備事業」により平成20年からの6年間で24

全国約 1800 市区町村の合計特殊出生率ランキング

順位	市区町村名	都道府県名	合計特殊出生率
1	伊仙町	鹿児島県	2. 8 1
2	久米島町	沖縄県	2. 3 1
3	宮古島市	沖縄県	2. 2 7
...
5	徳之島町	鹿児島県	2. 1 8
...
10	天城町	鹿児島県	2. 1 2
11	与論町	鹿児島県	2. 1 0
...
17	瀬戸内町	鹿児島県	2. 0 7

※上位30位に奄美群島8町がランクイン！ちなみに奄美市は龍郷町と並んで86位です。(平成20~24年)

世帯71名の人口確保が
図れたものの、この間の人口減少が約3千人であったことを指摘し、取り組みが弱いことを指摘しました。
そして、地方創生に向けた国の主な施策の方向性が
①地方に人を呼び込む
②子育てしやすくする

③(ある程度は進んでしま)う)人口減少にも対応できる街をつくる
ことであると申し上げ、特に②について掘り下げていきました。
人口の自然減(出生数<死亡数)対策として、本市の合計特殊出生率1.83に着目し、これを人口維持の目安



2
**空き家・
空き地対策**
まず先般実施された空き家実態調査の結果

である2.07まで向上させることを目標とすべきではないかと提言し、そのために未婚者への婚活支援と不妊治療に対する医療費助成制度の整備を提案しました。行政からは、「縁結びの達人」を選任して婚活支援を進めていく、また不妊治療医療費については今後の検討課題とするとの答弁がありました。地方創生の仕組みを活用して、将来のために積極的に進めて頂きたいです。

を尋ねたところ、調査進捗率約90%現在で名瀬307件・笠利203件・住用135件の合計645件ということでした。県全体の空き家率が15.3%です。それよりも高いかどうかはまだ分かりませんが、先の臨時国会で「空き家対策特別措置法」が成立したのを受けて、本市において適正管理等に関する条例の制定や民間活力を活用した「空き家バンク」の導入について提案したところ、行政からは県内3市4町で条例が制定されており今後本市でも制定したい、また空き家バンクについても所有者と移住希望者を結び付け

る手法として導入するために、不動産業関連の民間団体と意見交換をしていきたいとの答弁でした。活用できる空き家は定住人口を増やすために生かし、そうでない空き家は安全・安心な地域づくりのために対策をとることに、住みやすい地域をつくっていききたいです。

3
**世界自然遺産
登録の推進**

地域住民の自然環境保全意識を高めるための普及・啓発活動の一環として、ごみ分別の細分化・徹底化によるリユースやリサイクルのさらなる推進を提起

しました。というのも、**本市のリサイクル率は4.9%**で、**県平均の16.1%**を大きく下回っているからです。これで本当に、世界自然遺産になれるのか？という思いで尋ねたところ、行政からは**収集体制の見直し・集積場所の新設・処分先の確保や海上輸送費用の増大などが課題**として挙げられました。もちろん、多くの課題はあるでしょうが、取り組めるところから着手できるように、お互いに知恵を絞り合っていきたいです。

また、最近市役所への苦情が多くマスコミでも頻繁に採り上げられている野良猫問題に

ついて、現行条例への罰則規定の追加などより効果的な対策を提案しました。**イリオモテヤマネコが棲む沖縄県竹富町では実際に罰金による罰則が規定されている**ことを参考にしたいものです。行政とし

ても今後検討していくことが示され、また現在実施されているTNR事業（捕獲・手術後元に戻す）により昨年度103頭、今年度165頭の野良猫に避妊・去勢手術がなされたとの報告がありました。



※野良猫対策のため、庭にびっしりと置かれたペットボトル。名瀬のある地区からご相談を受けて伺ったところ、とても驚きました。衛生的で心身ともに健康的な生活を送ることすら脅かされています。果たしてこのままで良いのでしょうか？

11月～1月中旬の主な活動

- 11/7 平田浄水場更新事業安全祈願祭、大島地区 衛生組合議会
- 9 奄美市民体育祭応援、龍郷小島口大会見学
- 12 「大島紬のこれから会議」に参加、島尾忌に参列
- 13 議会運営委員会（12月定例会日程について）
- 13～16 熊本県菊池市都市間交流の会と西郷塾との交流会
- 14 陸上自衛隊演習「鎮西26」視察@住用町
- 18 「奄美・琉球」世界自然遺産登録推進特別委員会
- 12/1 住用町囁託員会見学
- 2 衆議院総選挙公示（14日投開票）
- 3 議会運営委員会（議案・請願・陳情の取り扱いについて）
- 6 航空自衛隊奄美通信隊40周年記念式典@笠利町
- 7 碩山杯剣道大会見学@笠利町太陽が丘
- 9 12月定例会開会（決算認定）
- 10～12 一般質問（12日の1番目に登壇）
- 17 本会議（総括質疑）、産業建設委員会審査、本場奄美大島紬協同組合との意見交換会
- 18 総務企画委員会審査に同席
- 24 最終本会議・紬議会（一般会計補正予算等議案35件を可決）
- 25 奄美群島日本復帰記念の日
- 1/1 奄美市合同年始会
- 3 住用地区成人式
- 5 名瀬地区成人式、笠利地区成人式
- 11 消防出初式
- 17 名瀬町内会・自治会連合会の研修会
- 19 全員協議会（議会報告会について）、議会運営委員会（3月定例会日程について）

昭和20年8月15日、日本は大東亜戦争(太平洋戦争)に敗れました。開戦に至る要因は目まぐるしく変化する国際情勢の中でいくつも見出すことができますが、それを知ったのは大人になつてからの自らの学びの中でした。わが国の近現代史についての知見の獲得は、国民全体にとって見直されなければならない課題だと感じております。

わが国にとって先の戦争からの最大の教訓は「二度と戦争を起してはならない」ということです。しかし世界各地では戦争や紛争・テロが頻発していますし、日本人が巻き込まれることもあります。国内においても特定の個人や団体による凶悪事件が起こつてきました。それでもわが国は世界と比べれば格段に治安が良いといわれています。

す。日本が戦後、当事者として戦争に巻き込まれることがなかったのも、憲法9条を基軸とした平和国家を希求する国民の努力の賜物であるとともに、自衛隊や米軍による防衛の最前線での活動があることも忘れてはなりません。「わが国は二度と戦争を起してはならない」私も強い思いで言いたいので、かつて終戦直前の激戦地であった小笠原諸島の硫黄島を訪ねた一人として。慰霊団に加わつてその島に降り立った私は、いまだ数多のご遺骨が回収されずに島に眠っていることに思いを致し、「まだ戦争は終わっていない」ことを深く実感

戦後 70年を 迎えて



※昨年末、おがみ山での日本復帰記念式典。

らない。では、どうすればわが国が戦争をせずに、巻き込まれずに、わが国自身を守っていくことができるのか？これを真剣に考えなければなりません。これを考えるのが、政治の最大の課題といえますが、ぜひ皆様からもご意見を伺いたいと思っております。

戦後70年の節目を迎えて、今の時代と将来を見通して、責任をもってわが国の安全保障を考えていくことが求められているのではないのでしょうか。米国の国際的な影響力が相対的に低下する中で、わが国が自ら防衛力を高めていく必要性は増していると感じます。このことは平和外交のための交渉力の増強にマイナスになることはありません。今後も皆様と一緒に、わが国と奄美の平和と安全・安心を求め続けて参ります。



そうへいからの お知らせ

●「出前報告会」
を行います！

現在、定期報告会の開催予定はありませんが、ご要望頂ければ出張報告にうかがわせて頂きますので、よろしくお願いたします。



- 本チラシの「配布ボランティア」を募集しております！
- お困りごとや奄美市へのご要望等ありましたら、お気軽にお寄せください！
- しーまブログ、ツイッター、フェイスブックでも活動情報発信中です！

※安田そうへい連絡先：
奄美市名瀬古田町5-7
電話：54-7621 / FAX：54-7620
Eメール：sohei@mskj.or.jp